

京都学園法学

1994 年 第 3 号

論 説

建物収去・土地明渡請求の相手方……………田 中 康 博 (1)
——最高裁1994年2月8日判決を契機に——

現行の法人処罰の在り方とその実務上の問題点……………青 木 紀 博 (51)

判 例 研 究

交通事故による損害賠償債務についての一部の
弁済の提供および供託が有効である場合……………甲 斐 道 太 郎 (79)

資 料

企業法人の司法書士利用に
関する意識・実態調査……………志 村 治 美 (87)
後 藤 幸 康

法学会記事

1994年号総目次

京 都 学 園 大 学 法 学 会

(通巻 第 16 号)